



乳用牛群検定推進事業

検 定 組 合

牛群検定だより

第9号(2013.5)

発

発行元：(社)家畜改良事業団 電子計算センター

〒135-0041 東京都江東区冬木11-17 イシマビル18F

Tel 03-5621-8921(直) FAX 03-5621-8922

e-mail : webmaster@liaj.or.jp URL : http://liaj.lin.gr.jp/



牛群検定を支える「酪農支援プロジェクトチーム」

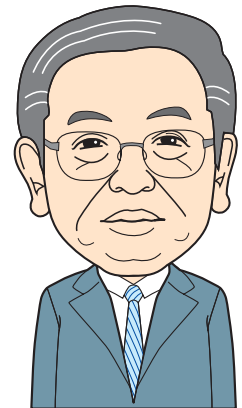
岡山県の牛群検定を担うおかやま酪農業協同組合では平成19年に酪農支援プロジェクトチームを立ちあげられ、現在も牛群検定成績を活用しながら県下一円の生産者を対象に、飼養管理技術指導や経営改善にむけ、様々な酪農支援活動を行っています。

チームの目標

- 1 飼養管理・飼養環境改善
- 2 繁殖成績の向上
- 3 先進事例の取組と普及



おかやま酪農業協同組合

代表理事組合長
東山 基

チームの体制

チーム立ちあげ時の平成19年当初は、飼養管理技術者と検定担当者の2名(チームリーダーとスタッフ)兼務だけでしたが、その後、飼料購買部門・診療獣医師部門からメンバーを補充し5名へと増員。また平成25年度からは乳質改善の現場指導には診療獣医師の積極的支援が欠かせないとの判断から獣医師4名を含めた8名(兼務)へと拡大構成され活動しています。

また、岡山県では繁殖台帳Webシステムやラクトコーダ等を早期に導入して、確かなデータに基づいた技術支援活動を推進しています。



岡山県



酪農支援プロジェクトチームの成果!

岡山県	平成18年度末	平成23年度末	都府県	
検定農家	269戸(58.5%)	225戸(62.7%)	参考	
検定頭数	10,042頭 (66.1%)	9,030頭 (73.4%)	平成18年度末	平成23年度末
305日乳量 (ホルスタイン)	9,372 kg	9,403 kg	9,244 kg	9,341 kg
305日乳量 (ジャージー)	6,045 kg	6,427 kg	5,976 kg	6,097 kg
日量	27.0 kg	27.2 kg	27.9 kg	28.0 kg
分娩間隔	445日	441日	441日	449日

岡山県の酪農の簡単な紹介

●岡山県の技術支援の例

- ・牛群検定成績を活用した研修会やバーンミーティングを関係指導機関と連携し開催
- ・繁殖台帳Webシステムを活用し、検定データを用いた現場指導
- ・飼養管理技術支援は飼料設計ソフト等を使用し支援農家戸々に対応
- ・ラクトコーダを用いた搾乳立会により搾乳手技改善並びに乳質改善をデータに基づいて指導
- ・カウコンフォート事業等、牛の快適性を中心とした低コスト改善プランを農家戸々に提案

●岡山県が誇る分娩間隔

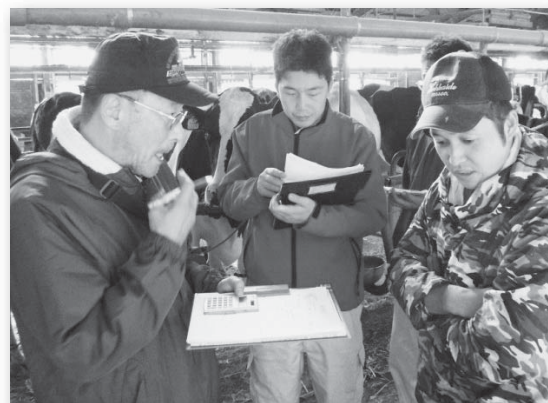
平成23年度は、全国的な猛暑の影響で分娩間隔が過去最悪を記録した中で、岡山県においては、分娩間隔の短縮に成功しました。また、現在、酪農支援プロジェクトチームでは、平成24年度より、全酪連技術顧問成田修司氏をメンバーに迎え、飼養管理技術を中心に指導者の人材育成も兼ねて取り組んでいます。

●岡山県では全国のジャージー飼養頭数が全国第一位!

蒜山地区は全国有数のジャージー種の産地です!
飼養頭数、検定加入頭数共に全国No.1を誇っています。
最近5カ年で約400kgの乳量増となりました。



◆プロジェクト立ちあげ時の検定担当
メンバー 指導部 三門 副調査役



◆プロジェクトチームによる農場ミーティング
若手の畜主と関係者も参加



牛群検定の新規加入農家である山川牧場を訪問し、牛群検定を活かした酪農支援プロジェクトの成果をお尋ねしました。

Q: 牛群検定を始めたきっかけは何ですか？

A: 以前より牛群検定に興味は持っていましたが、正直自分一人で成績表を活用できると思えず加入は考えていませんでした。そんな時、検定担当者が庭先訪問された際に「お試し事業」(次ページ参照)というものがあると教えてもらえ、更に牛群検定に加入すればパソコンを活用したり色々な指導サポートが受けられると勧められ即加入を決めました。

Q: 牛群検定に入って改善できたことはありますか？

A: まず、検定加入してすぐに体細胞数の高い牛の淘汰を行うことが出来ました。以前からPLテストなどは励行し乳質管理に努めていましたが、牛群検定の実施で、1頭1頭の体細胞数を初めて知ることができ、個体に応じた的確な治療や淘汰、搾乳手技を見直す事で乳質改善出来るようになりました。

Q: 牛群検定の良いところはなんですか？

A: 自分はまだ酪農を始めてからの日も浅く、ベテランである父のように牛舎で牛を見ていても何もわかりません。しかし、牛群検定は牛の状況をすべてを数字にしてくれるので、経験の浅い私でも牛の訴えていることが分かるようになります。父と経営改善や技術的な話をする時にも、世代や経験のミゾを埋めてくれます。

Q: 牛群検定を開始したあと乳量が急増していますね。

A: 関係機関のアドバイスもあり、牛群検定を基にして個体に応じた飼料給与量と給餌順序の変更を行ったので、その効果が表れているのだと思います。飼料の無駄を省けますね。

Q: 繁殖成績も向上しているようです。

A: 自家授精です。最近やっと慣れてきて、受胎するようになったところです。現在は、分娩後の初回授精タイミングにも気を配っており、40日を経過して発情が来たものは見逃さずに授精を行うようにしています。月に3回、獣医師の繁殖検診を受けているのも良いのかもしれません。

Q: プロジェクトチームと行った改善点はなんですか？

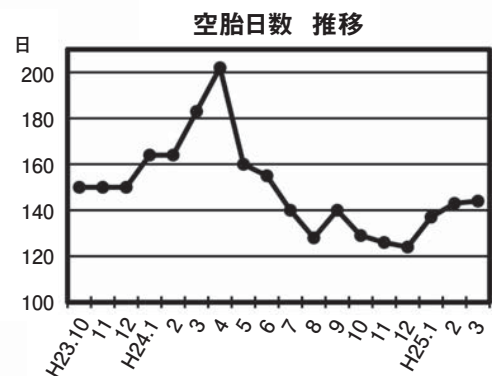
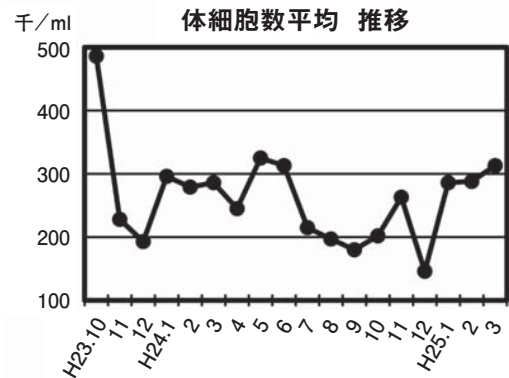
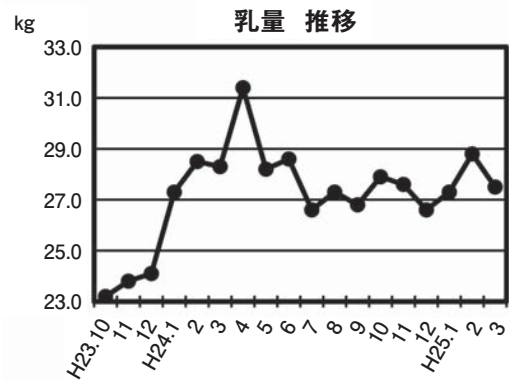
A: まず暑熱対策を実施しました。送風扇は角度の調整や増設により、牛舎内の牛に一定の風量が当たるようにし、屋根にはドロマイト石灰も塗布しました。加えて、乾牧草の切断長を10cm程度となるようにしました。そうしたところ夏場の採食量を維持する事ができ、乳量低下を避ける事ができました。更に検定成績では、夏場の標準乳量を高く維持できていた事に驚きました。これらは、検定加入する事でプロジェクトチームや、色々な関係機関の支援を更に受けられるようになったお陰かなと思っています。

Q: 今後の牛群検定に期待するところはなんですか？

A: 酪農は他の産業と違って個人の秘密主義ではなく、オープンであって良い世界だと思います。酪農家相互に牛群検定データを使った技術の交流を行ってみたいです。牛群検定データの活用についての技術指導がもっと充実するといいですね。増頭計画は現時点では難しいので、今の頭数で酪農をもっと勉強し、高品質高乳量の更なる向上を目指したいと思っています。



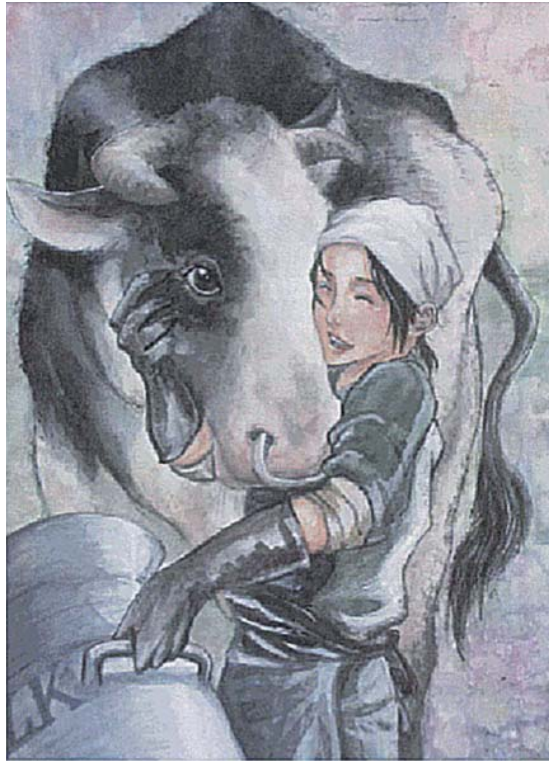
◆左から善彦さん、秀司さん、由利さん





明日を支える牛検 News

毎月発行される「組合だよりJAおからく」に、明日を支える牛検Newsとして、牛群検定を中心とした技術情報が連載されています。平成18年10月から連載を開始し、現在までで70回を超えています。その技術情報は誰でもインターネット見ることができますので、ご覧になってみてください。
(<http://www.okaraku.or.jp/dayori.html>)



優秀賞 岡山県教育長賞 岡山県立操山中学校2年 石川加奈子
— 絵の説明 —
これは平成23年3月におきた東北大地震の被災地の牛とその飼い主さんをイメージとして書きました。またおいしい牛乳が飲めるようお願いを込め光り輝くイメージのバックにしました。



優秀賞 岡山県教育委員会教育長賞 岡山大学教育学部附属中学校3年 新井沙季
— 絵の説明 — 人は赤ちゃんから老人になるまで、牛乳を飲んで成長していきます。生涯、牛と深い関わりを持っていくと思います。背景の日本の四季を人の一生にたとえて、牛と人が「ずっと一緒に生きていこう」という気持ちを込めて描きました。

「組合だよりJAおからく」の表紙は、「牛乳大好き！絵画コンクール」で入賞した小学生中学生のたのしい絵で彩られています。

今年もやりますお試し検定！

今回、誌面で紹介されました、山川牧場さんもお試し検定より牛群検定を始め、乳量や体細胞の改善に至りました！今回の機会、是非ご利用下さい！

平成25年度 牛群検定の試行を募集中！

牛群検定を無料で体験できる牛群検定の試行（通称「お試し検定」）を、募集しています。この事業は牛群検定にかかる諸経費を最大6ヶ月間家畜改良事業団がサポートするというお得な事業です。お知り合いの検定未加入の酪農家に「今がチャンス！」とお伝え下さい。牛群検定を始めれば、自宅のパソコンや携帯電話で検定データを活用できる「繁殖台帳Webシステム」も使い放題です。また、乳量計のレンタルもあわせて行っています。牛群検定の試行、乳量計レンタル、繁殖台帳Webシステム等について、詳しくは家畜改良事業団ホームページをご覧ください。

家畜改良事業団

検索

ご不明な点は、家畜改良事業団までお問い合わせください

E-mail : toiawase@liaj.or.jp 電話 : 03-5621-8921